

## 「盛岡支社・秋田支社における乗務員基地再編の概要について」提案を受ける！ NO. 2

### 大館運輸区について

#### 組合

- ・今施策の目的は何か。
- ・効率的な運用ということだが大館運輸区を廃止とする理由は何か。
- ・異常時が発生した場合など課題はないのか。
- ・大館運輸区の輸送業務だけが残る理由は何か。
- ・車両の入換に関しては今後も検討されるのか。
- ・大館運輸区輸送の所属はどうなるのか。
- ・輸送の業務量は縮小するのか。
- ・業務量が増えないということは現行の要員が残ることか。
- ・大館運輸区の建物はどうなるのか。
- ・鉄道サービスの業務量はどうか。
- ・大館寮や社宅はどうするのか。
- ・今後、異動が発生しても使用できるということか。

#### 会社

- ・秋田、盛岡支社の輸送体系を変更し効率的な運用体系にしていく。
- ・現行の配置は過去から見直しが行われず、概ね50キロに一区所ずつあった。輸送体系を検討し、車両や留置箇所等どのようにすれば効率的になるか検討した結果、大館運輸区の廃止に至った。
- ・風規制や雨規制で東能代～大館が区間運休になっても対応できると考えているため大きな問題はない。ただ、秋田運輸区の乗務員は大館駅構内の入換をやっていないため今後の訓練は必要になる。
- ・朝と日中の車両の入換が残っていくため。
- ・効率面を考え検討していくことになる。
- ・まだ決まっていない。
- ・業務量は輸送体系が変わらない限り変化しない。
- ・そうなる。輸送助役等の人数は検討中である。
- ・検討している。どこまで残していくのかということも関係箇所と調整していく。
- ・車両の清掃や乗務員宿泊所もあるため大きな変更はない。
- ・今のところ無くすという計画はない。
- ・使用できる。

### 輸送体系について

#### 組合

- ・奥羽本線の列車本数についてどのような考えか。
- ・行路枠数が示されたが廃止となる運輸区の現在の行路が弘前運輸区に増えるというイメージか。
- ・要員規模はどうなるのか。
- ・今回の行路枠数は基地再編に限ったものなのか。それとも新幹線の施策の関係もあるのか。
- ・効率的な運用を考えた場合に、異常時も含めて考えると東能代運輸区に電車を持たせることも必要ではないのか。
- ・ジョブローテーションも提案されたが、今後の運転士養成の規模は縮小していくのか。

#### 会社

- ・今後のお客さまの流動で変化もあるが、現行は変わらない。
- ・泊まりや日勤行路の数で示している。組み合わせをしながらになるので単純に移行ではない。
- ・秋田支社の要員だけでは賅えない。
- ・あくまで大館運輸区と青森運輸区の間を秋田運輸区と弘前運輸区で乗務することをイメージして作っている。他の施策と併せたものではない。
- ・会社の中でも検討し議論したが、今回は秋田運輸区と弘前運輸区で乗ってもらうことがいいとなった。今後必要だとなれば検討しなくてはいけない。
- ・意図的に考えはない。採用数が減る中で同じ養成数が厳しくなるのではないかと考えている。